

南信州広域連合議会
医療福祉委員会

令和7年11月21日

南信州広域連合事務局

南信州広域連合議会 医療福祉委員会会議録

令和7年11月21日（金） 午前9時56分 開議

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 副管理者挨拶

4. 議案審査

(1) 議案第18号「令和7年度南信州広域連合一般会計補正予算（第2号）案」のうち、当委員会付託分【別紙分担表】

(2) 議案第20号「令和6年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、当委員会付託分【別紙分担表】

5. 閉会

医療福祉委員会

令和7年11月21日

南信州広域連合事務局

南信州広域連合議会 医療福祉委員会

日 時 令和7年11月21日(金) 午前9時56分～午前10時10分
場 所 はにかむべーす 201・202号会議室
出席者 下平(恒)委員長、串原副委員長、唐澤委員、佐藤委員、井原委員、塩沢委員
宮脇委員、古川委員
欠席者 太田委員、三浦委員、清水(優)委員、
事務局 高田副管理者、吉川事務局長、滝沢事務局次長兼総務課長、
乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長、仲田課長補佐兼介護保険係長、熊谷書記長

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 副管理者挨拶
4. 議案審査

No	項 目 名	資料	頁
1	議案第18号「令和7年度南信州広域連合一般会計補正予算(第2号)案」のうち、当委員会付託分【別紙分担表】		5
2	議案第20号「令和6年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、当委員会付託分【別紙分担表】		6

5. 閉 会

1. 開 会

午前9時56分

(下平 (恒) 委員長) 当委員会に対し、議案の補足説明のため、地域医療福祉連携課、仲田課長補佐兼介護保険係長の出席について申入れがあり、許可いたしました。

現在の出席委員は、8名であります。太田直昭委員、三浦喜久夫委員、清水優一郎委員から欠席する旨の届出がありましたので、報告いたします。

それでは、会議次第により進めます。

ただいまから、南信州広域連合議会医療福祉委員会を開会いたします。

2. 委員長挨拶

(下平 (恒) 委員長) 開会に当たり、委員長から一言ごあいさつを申し上げます。

皆さん、改めましておはようございます。

飯田市議会については、来週、定例会の開会を控えております。町村の皆さんも大体似たような日程のお忙しい中と思いますけど、医療福祉委員会に御出席いただきましてありがとうございました。

去る10月8、9日と16、17日に広域議会としての視察を行いました。方向2か所違うんですけど、多くの皆様に出席いただきましてありがとうございました。

視察の内容につきましては、閉会日の全員協議会の折に報告会を予定されているようですので、そこでまた全委員で情報が共有できればなと思っております。

本日は、委員会に引き続き、委員会協議会も予定されておりますので、どうかよろしく願いいたします。

3. 副管理者挨拶

(下平 (恒) 委員長) ここで、副管理者からごあいさつをいただきます。

高田副管理者。

(高田副管理者) 皆さん、おはようございます。お世話になります。よろしく願いいたします。

医療福祉委員会の開会に当たりまして、一言ごあいさつをさせていただきたいというふうに思っております。

南信州広域連合におきます、広域連合議会の第2回定例会ということでもありますけれども、南信州広域連合の条例では2月と1月に定例会ということになっておりまして、第2回の定例会は、この11月、一般会計や特別会計の前年度決算を踏まえて認定をいただくという、そういう大事な議会でございます。

私から、令和6年度の特徴等について少しだけ触れさせていただきたいというふうに思っております。

決算規模でありますけれども、一般会計、特別会計を合わせて4つの会計、歳出の合計額がおよそ48億6,000万円ということになっております。これは、前年度と比較しますと約8億円、率で20%という大きな増ということになっております。

この決算規模、過去を少し振り返ってみますと、稲葉クリーンセンターを建設をしておりました平成28、29年度がおよそ80億円ということでございます。この大きい額に比べればおよそ半分ということでありまして、その稲葉クリーンセンターが開業した以降、平成30年度以降はおよそ40億円ですとずっと推移をしてきた。前後はあります

けれども、およそ40億円で推移をしてきたということでもありますけれども、令和6年度は48億円余ということになりました。

この大きな要因でありますけれど、幾つかあるわけですが、1つはこのはにかむベールの改修をしたということ。それから、旧桐林クリーンセンターの解体工事に着手をしたこと。それから、高森消防署の移転整備ということで、大きな事業が重なったということもありまして、規模は大きくなったということでもあります。

令和6年度の広域連合におけます特徴として挙げられますのは、1つは、仮称でありますけれども南信運転免許センターの設置の場所を含めて目途が立ったということ。それから、桐林クリーンセンターが平成29年に閉鎖をしたわけでもありますけれども、それ以降検討されてきました後利用の目途がついて、解体に着手ができたということ。それから、消防署の署所の整備に関しては長い年月かかるわけでもありますけれども、まずは高森消防署の移転整備に着手したという、そんなようなことが挙げられるかなというふうに思っております。

それぞれの決算の中身につきましては、それぞれの所管の常任委員会で説明をさせていただきますけれども、ぜひ、次年度の予算編成に向けまして御意見賜ればありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

4. 議案審査

(1) 議案第18号「令和7年度南信州広域連合一般会計補正予算（第2号）案」のうち、当委員会付託分【別紙担当表】

(下平(恒)委員長) それでは、これより議案審査に入ります。

初めに、議案第18号「令和7年度南信州広域連合一般会計補正予算（第2号）案」のうち、当委員会付託分を議題といたします。

執行機関側の説明を求めます。

乾地域医療福祉連携課長。

(乾地域医療福祉連携課長) それでは、3款、民生費につきまして、歳入歳出補正予算事項別明細書にて御説明申し上げます。議案おめくりいただきまして、補正予算書の一般補12、13ページと書かれているページをお開きください。

3項、4目、看護師等確保対策事業費でございます。20節の貸付金は、修学資金貸付事業費の貸付金を120万円増額いたします。当初予算では、修学生10名分の600万円を計上していたところでございますが、今年度の修学生を12名と決定したことから、2名分の120万円を増額したいとするものでございます。

それから、24節の積立金でございますが、看護師等確保対策推進基金積立金を675万3,000円増額いたします。この積立金は、現在の貸与者に対する貸与期間満了までの必要額を積み立てるものでございまして、ここから修学資金貸付事業費に繰り出しをしております。今年度の貸付者12名を含みます33名の必要額が決定したことから、基金残高と当初予算の基金積立額及び基金利子積立額を差し引いた不足分を増額したいとするものでございます。財源は、ともに一般財源の繰越金でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

(下平(恒)委員長) 説明が終わりました。

御質疑はございませんか。

なければ、質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

(下平(恒)委員長) なければ、討論を終結いたします。

これより、議案第18号を採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

(下平(恒)委員長) 御異議なしと認めます。よって、議案第18号の当委員会付託分は、原案のとおり可決されました。

(2) 議案第20号「令和6年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、当委員会付託分【別紙分担表】

(下平(恒)委員長) 次に、議案第20号「令和6年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、当委員会付託分を議題といたします。

執行機関側の説明を求めます。

乾地域医療福祉連携課長。

(乾地域医療福祉連携課長) それでは、3款、民生費につきまして。まず、歳入歳出決算事項別明細書を御覧いただきたいと思っております。決算書の26、27ページを御覧ください。

3款、民生費の決算額は1億1,296万円余でございます。令和5年度より1,560万円余の増でございます。

大きな要因としましては、ガバメントクラウドの導入準備に伴う介護認定審査会費の増。それから、医療的ケア児等コーディネーターの配置に伴う相談支援事業費の増が挙げられます。なお、ガバメントクラウドといいますのは、地方自治体の情報システムを共通化し、コスト削減、セキュリティ強化、業務効率化を図る取組を指しております。

続きまして、予算科目の目別の決算状況につきましては、主な施策の成果を用いて説明をいたしますので、決算書の54ページにお進みください。

歳出と歳入であります財源について併せて説明させていただきます。

それでは、上段の介護認定審査会事務でございます。取組状況欄を御覧ください。

認定審査会の運営、介護認定調査員の研修会を行っております。決算額は2,968万2,000円でございます。予算額との大きな乖離がございますが、これは冒頭申し上げましたガバメントクラウドにつきまして、導入準備費用を計上したところ、専用回線が不要になったことや市町村に対し国から補助金が交付されることになったことから、不用額が生じたためでございます。

財源は、市町村負担金と繰越金でございます。この繰越金は、前年度の法改正対応が翌年度にずれ込んだことによるものでございます。

続いて、中段の老人ホーム入所調整事務でございます。取組状況欄を御覧ください。

養護老人ホームと特別養護老人ホームの入所調整を行っております。決算額84万8,000円。財源は、市町村負担金でございます。

続いて下段の在宅医療・介護連携推進事業でございます。取組状況欄を御覧ください。

在宅医療介護連携推進協議会を運営し、医療介護連携や介護人材確保等に係る事業を実施しております。決算額は78万3,000円。財源は市町村負担金でございます。

55ページにお進みください。

上段の市町村審査会事務でございます。取組状況欄を御覧ください。

障がい支援区分認定に係る審査会の運営、市町村担当者の研修会を行っております。決算額は225万5,000円。財源は、市町村負担金でございます。

続いて、中段の障がい者相談支援事業・医療的ケア児等総合支援事業でございます。取組状況欄を御覧ください。

ほっとすまいるとひまわりに委託して相談支援に取り組みました。また、冒頭申し上げたように、医療的ケア児等コーディネーターを2名、飯田市のこども発達センターひまわりに配置して体制を強化し、医療的ケア時等総合支援事業に取り組みました。決算額は4,867万5,000円。財源は、市町村負担金でございます。

続いて下段の、飯田下伊那診療情報連携システム運営事業でございます。

このシステムは、医療情報を医療機関や介護施設等の中で共有することで、投薬や検査の重複回避などに寄与するとともに、医療介護連携を推進し、地域包括ケアシステムの一翼を担っております。取組状況欄を御覧ください。

事務局としまして、システム管理等を委託し、研修会を通じてセキュリティの向上に努めております。また、令和6年度から地域医療アドバイザーを委託し、地域医療の諸課題に関わっていただいております。決算額は612万9,000円。財源は、市町村負担金でございます。

56ページにお進みください。

上段の看護師等確保対策修学資金事業でございます。取組状況欄を御覧ください。

看護職を目指す修学生に対し月額5万円を貸与する事業でございます。令和3年度から令和6年度の対象者に貸付けを行いました。決算額は、3,958万5,000円。財源は、市町村負担金、医師会負担金、基金繰入金等と一般財源でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

(下平(恒)委員長) 説明が終わりました。質疑は、決算書のページを告げてから行ってください。

質疑はございませんか。よろしいですかね。

なければ質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

(下平(恒)委員長) なければ、討論を終結いたします。

これより、議案第20号の当委員会付託分について採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり認定することに、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

(下平(恒)委員長) 御異議なしと認めます。よって、議案第20号の当委員会付託分は、原案のとおり認定されました。

議案審査は、以上です。

5. 閉会

(下平(恒)委員長) 以上で、本日の医療福祉委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉 会 午前10時10分

南信州広域連合議会委員会条例28条の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

南信州広域連合議会 医療福祉委員長
